



ひだのたくみ

飛驒匠のDNAを受け継ぐものづくりのまち メイド・バイ飛驒高山認証

市では、飛驒高山ブランドコンセプトに合致する独自性と信頼性の高い地場産品を「メイド・バイ飛驒高山認証産品」に認証しています。ものづくりの匠たちの熱い想いに触れてください。



飛驒高山ブランドコンセプト

「飛驒高山の風土と飛驒人の暮らしが
生み出す本物 それが飛驒高山ブランド」

No.2 タカネコーン タカネコーン生産組合

メロン並みの糖度と1本400グラム以上の大きさで、食べた人を魅了してやまない高根町の特産品。「高根へ来ませんか（高根に來ん？）という語呂合わせでネーミングされているとおり、タカネコーンは高根の活性化に欠かせない特産品です。

タカネコーン生産組合の組合長を務める下田初秋さんは語ります。

「この地域では昔からトウモロコシを栽培していたけど、今は違って牛の飼料用の固いトウモロコシを育てていました。人も食べられるものができんかなと、平成7年に3人で始めたんです」

当時は1本50円ほどにしかならない状況で、さまざまな品種を栽培する日々が続きましたが、試行錯誤の末にようやくこの地に適した品種を見つけました。

標高1,200メートルの高冷地域がもたらす昼夜の寒暖差と、茎についた実を間引き、吸い上げる栄養分を1本に集中させることで、大きくて甘いタカネコーンが育ちます。

平成9年には、タカネコーン生産組合を立ち上げ、平成10年からは宅配やオーナー制度による販売を開始。おいしいものを食べてほしいという思いから、箱詰めするときも畑と同じように立てた状態で出荷するなど、消費者目線で販売します。

「間引いた実や茎は牛の餌になり、牛のフンが堆肥になる。タカネコーンと牛の循環型農業なんです」とほほ笑む下田さん。

「収穫祭の時は、にぎやかになるよ。オーナーとの交流が楽しい。地域の方、ボランティアの方、高根ゆかりの方が手伝ってくれるおかげでできている。本当にありがたいことです」

御嶽山と乗鞍岳を望む収穫祭の会場には、まもなく収穫を迎える自慢のタカネコーンが天に向かって伸びていました。



広報 市長だより

(91)

戦後74年を迎え

高山市長 國島芳明

市民の皆様には、さまざまな想いを胸に、広島・長崎に原子爆弾が落とされた日や終戦の日をお過ごしになられたことと思います。

あの苦烈を極めた先の大戦において、祖国を思い、愛する家族を案じつつ、戦禍に遭われ、多くの尊い生命が失われました。私たちは、この尊い犠牲のうえに、今日の生活があることを決して忘れてはなりません。

戦後74年を迎え、8割を超す国民が先の大戦の悲劇を体験していない世代となりました。

戦争の悲劇を風化させることなく、次の世代に平和への思いや願いを受け継ぐことが、今の世を生きる私たちの責務であると深く胸に刻み、世界から紛争や飢餓がなくなるよう願い「平和への絆」の紐を打ち鳴らしました。

私は、世界各地から高山市にお越しいただき、市民と、また相互に交流を図ることも、異文化理解・多文化共生に繋がり、国際平和への道標になると考えております。

今後とも、平和首長会議の一員として、国際観光都市高山から国際平和を訴えてまいります。



市長室へ ようこそ

●市民と市長の面談日



9月10日(火)

午前9時00分～11時45分

※事前にご予約ください

市長室直通FAXもご利用ください
FAX●36-2060

問合先 秘書課 ☎35-3130

ケーブルテレビの番組「ハイ、市役所です」はインターネットでもご覧いただけます。
市ホームページ「行政情報」の動画コーナー

高山市公式YouTubeチャンネル 検索

編集・発行／高山市総務部広報情報課

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地

TEL／0577-32-3333(代)

FAX／0577-32-7000 (市長室直通)

FAX／0577-35-3174 (広報情報課直通)

E-mail／kouhou@city.takayama.lg.jp

HP／http://www.city.takayama.lg.jp/

携帯用HP／http://mobile.city.takayama.lg.jp/

防災行政無線の内容は電話でも確認できます

☎0180-995-690